

オプトアウトについて

論文名：Exploratory bifactor analysis to the Liebowitz social anxiety scale in Japanese adults who seek treatments for stuttering（吃音の治療を求めている日本の成人における、Liebowitz社交不安尺度に対する探索的bifactor分析）

研究対象期間：平成 23 年 8 月～平成 29 年 12 月

研究費：国立障害者リハビリテーションセンター運営費

① 情報の利用目的および利用方法

吃音のある18歳以上の方の社交不安の特徴や質問紙の使用方法について明らかにすることを目的とします。診療録の情報を匿名化加工し、そのデータを統計的に処理しますので、個人が特定される可能性はありません。

② 利用または提供する情報の項目

平成 23 年 8 月～平成 29 年 12 月の間に当院の成人吃音外来の初診者の診療録から得られた、問診票と質問紙に記入されたデータ。また、その他の診断名・職業。

③ 情報を利用する者の範囲

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 灰谷 知純 酒井 奈緒美
同自立支援局 森 浩一 同病院 北條 具仁
(情報は匿名化され、個人を特定できない情報として利用されます。)

④ 情報の管理について責任を有する者

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 感覚機能系障害研究部 聴覚言語機能障害研究室 室長 酒井 奈緒美
国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 感覚機能系障害研究部
流動研究員 灰谷 知純

⑤ 情報提供の拒否について

本件に関し、受診者（未成年の場合、保護者）は「利用または提供する情報の項目」に記載した情報の研究への利用または提供を拒否することができます。なお、それにより受診者が診療等に不利益を受けることはありません。なお、当論文は2018年12月に投稿予定で、投稿日以降は情報提供拒否の申し出をいただいても、論文の対象データから削除することができない可能性があります。

⑥ 情報提供拒否の申し出および問い合わせ先

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 感覚機能系障害研究部
流動研究員 灰谷 知純
Tel: 04-2995-3100（内線7293）
Fax: 04-2995-3132（代表）
Eメール：haitani-tomosumi@rehab.go.jp

⑦ 個人情報の取り扱いに関する苦情の申し出先

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
企画課長 西村 陽子
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1
TEL: 04-2995-3100（内線2140）、FAX: 04-2995-3661
Eメール：kikakurinri@rehab.go.jp

研究の概要

研究の背景と目的

吃音のある人は社交不安症（社交場面で強い不安を感じる精神障害）の合併が多いことが知られていますが、社交不安症の症状の評価には、Liebowitz 社交不安尺度（LSAS）が用いられます。LSAS は 24 の社交場面での恐怖感/不安感、回避の程度を尋ねる質問紙ですが、吃音のある成人の方で、LSAS をどのように採点すべきかについてはよくわかっていません。この研究では、bifactor 分析と呼ばれる統計的な分析を用いて、吃音のある成人の方でどのように LSAS の採点を行うべきかについて検証しました。

研究の結果と意義

初診時の回答を分析した結果、吃音のある成人の方では、LSAS の恐怖感/不安感、回避の尺度の合計得点に加えて、それぞれの尺度の電話に関する 2 項目の合計得点を考慮することが望ましいことがわかりました。この研究の結果は、吃音のある成人の方の LSAS を用いた社交不安の評価に活用されます。